

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度12月

第九小学校147回目の誕生日

校長 菊池 修

11月23日(土)には「九小祭」が行われました。実行委員の皆様をはじめ、各学年委員さん、専門委員さん、保護者の皆様、そして地域の皆様のお力をいただいて盛大な会となりました。5年生、6年生、くわのみ学級の児童もお店を担当しました。また、和太鼓クラブの児童も日頃の練習の成果を発表させていただきました。年度当初から企画・準備をしていただきました皆様当日ご多用の中お越しいただきました地域・保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、11月27日は第九小学校の開校記念日です。今年は147回目の開校記念日となります。明治5年(1872年)に流泉寺の境内に九小のもととなる「西砂川学校」ができました。この年から数えて今年が147年目にあたるということになります。

明治5年に「学制」が發布されました。国民すべてが教育を受けることができるというきまりです。それでも、学校に通うのには月謝(学校に通うための費用)が必要だったため、生活に余裕のある人しか行けないというのが実際だったようです。

その後、西砂川尋常小学校、西砂川尋常高等小学校、東京府北多摩郡西砂川国民学校、東京都北多摩郡西砂川小学校、立川市立砂川第二小学校、立川市立第九小学校と学校の名前が変わっていく中で、たくさんの児童が学んできました。

これまでの周年行事で発行された「記念誌」の名称が「あしっこ」です。この学校だよりの名前でもあります。「あしっこ」とは砂川地区の方言で「あしあと」のことです。(100周年記念誌より)土の上に残る足跡のことをいいますが、業績を残せというたとえとして「あしっこを残せ」という言い方をするのだそうです。これまで卒業していった卒業生の方々、その時代その時代の保護者・地域の皆様が創り上げてきた「あしっこ」を今の在校生・教職員・保護者・地域の皆様で引き継いでいます。決して目に見える「あしっこ」ばかりではないと思います。一人一人の子どもたちの喜び、自信、優しさなど目に見えない「あしっこ」もたくさんあります。

これからも、九小の「あしっこ」はつながっていきます。3年後の150周年、さらには200周年、250周年と遠い未来へとつながっていきます。未来の九小はどうなっているのでしょうか。どんな教育をしているのでしょうか。どんな校舎・校庭になっているのでしょうか。きっとその時代に合った、その時代のニーズに合わせた学校になっていることなのでしょう。でも、昔からの「九小らしさ」も残っていると思います。地域の方と一緒に創っていくという「九小らしさ」が残っていると思います。そのためには、今までの、そしてこれからの「あしっこ」を大事にしていかななくてはならないと思います。

※本校学校運営協議会の委員長 古川茂一様によって、五日市街道の門と南門の「立川市立第九小学校」の看板を書き直していただきました。すべて手作りの看板です。機会のある時にぜひご覧ください。